

1. 国際記念シンポジウムの概要

(1) 実施概要

スマトラ沖地震津波や東日本大震災など巨大震災が世界で頻発するなか、ユネスコの建築・住宅地震防災国際プラットフォーム(IPRED)の活動を推進するため、建築研究所国際地震工学センターと政策研究大学院大学が協力し、国際シンポジウムを開催した。本シンポジウムでは、世界各国の第一人者から、地震津波防災の展望を伺い、国際協力を通じて命を守る方策を探った。

※ユネスコの協力で開始された国際地震工学研修の記念行事も兼ねた。

タイトル	国際記念シンポジウム「命を守る地震津波防災の実現に向けて」
日時	2012年6月27日(水) 午前10時から午後5時まで
場所	政策研究大学院大学 1階 想海楼ホール
参加費	無料(要申込み)
使用言語	英語および日本語(同時通訳あり)
当日参加者	約150名(講演者等含む)
主催	ユネスコ、(独)建築研究所、政策研究大学院大学
後援	国土交通省、外務省、JICA、読売新聞社



受付(想海楼ホール入口)



会場(想海楼ホール)

国際記念シンポジウム

「命を守る地震津波防災の実現に向けて」

International Memorial Symposium "Protecting Lives from Earthquake and Tsunami Disasters"

日時：2012年6月27日 [水]

午前10時から午後5時まで

会場：政策研究大学院大学

1階 想海楼ホール

(港区六本木7-22-1)

使用言語：英語および日本語（同時通訳あり）

スマトラ沖地震津波や東日本大震災など巨大震災が世界で頻発するなか、ユネスコの建築・住宅地震防災国際プラットフォーム (IPRED) の活動を推進するため、建築研究所国際地震工学センターと政策研究大学院大学が協力し、国際シンポジウムを開催します。世界各国の第一人者から、地震津波防災の展望を伺い、国際協力を通じて命を守る方策を探ります。
※ユネスコの協力で開始された国際地震工学研修の記念行事も兼ねます。

主催：ユネスコ (UNESCO)、独立行政法人建築研究所 (BRI)、政策研究大学院大学 (GRIPS)
後援：国土交通省、日本ユネスコ国内委員会、外務省、JICA、読売新聞社 (予定)



《お申し込み方法》

以下の申し込み先に「ご氏名」「ご所属」「ご連絡先」をご記載の上、メールまたはFAXにてお申し込みください。

※事前のお申し込みが無い場合、当日の混雑状況によっては、ご参加いただけない場合がございますので、ご了承下さい。

**参加費無料
要申し込み**

【お申し込み先・お問い合わせ先】

政策研究大学院大学 岡崎研究室 (担当：黄) E-mail: phd09009@grips.ac.jp FAX: 03-6439-6010

<http://www.grips.ac.jp/jp/about/access.html>

国際記念シンポジウム

「命を守る地震津波防災の実現に向けて」

International Memorial Symposium "Protecting Lives from Earthquake and Tsunami Disasters"

プログラム — 2012年6月27日 [水]

10:00 開会

- 主催者挨拶
坂本 雄三 (独) 建築研究所理事長
恒川 恵市 政策研究大学院大学副学長
- 来賓挨拶
井上 俊之 国土交通省大臣官房審議官



10:20 基調講演1 「地震学の未来」

尾池 和夫 (財) 国際高等研究所所長・前京都大学総長

11:10 基調講演2 「地震津波防災におけるユネスコの役割と戦略」

バダウィ・ルーバン ユネスコ科学部門自然災害ユニット部長

=====《 12:00 - 13:15 昼 食 》=====

13:15 「命を守る—震災の教訓と今後の展望」(各 25 分)

- 「2015 年以後の視点 - 災害軽減の実績と今後の課題」
サルパノ・プリセーニョ IRDR 科学委員会委員長・前国連国際防災戦略事務局長
- 「都市の新たな脅威としての長周期地震動」
額田 一起 東京大学地震研究所教授
- 「インドネシアにおける耐震建築基準の普及戦略」
アニータ・フィルマンティ インドネシア人間居住研究所 (RIHS) 所長
- 「津波避難ビルの構造設計法」
福山 洋 (独) 建築研究所構造研究グループ長
- 「地震工学分野の調査研究協力—ヨーロッパの SAFECAST プロジェクト」
ファルク・カラドアン トルコ・イスタンブール工科大学 (ITU) 教授・前学長

=====《 15:20 - 15:40 休 憩 》=====

15:40 パネルディスカッション：「命を守る地震防災国際協力」(75 分)

- モデレータ
ユネスコ バダウィ・ルーバン ユネスコ科学部門自然災害ユニット部長
- パネリスト
チリ ラウル・アルバレス チリ カトリカ大学教授
エジプト サラ・ムハンマド エジプト国立天文地球物理研究所部長
ペルー カルロス・サバラ 日本・ペルー地震防災センター (CISMID) 所長
ルーマニア ラドゥ・バカロヌ ルーマニア 国立ブカレスト工科大学 (UTCB) 副学長
日本 岡崎 健二 政策研究大学院大学教授

16:55 閉会

- 閉会挨拶
西山 功 (独) 建築研究所理事

使用言語：英語および日本語 (同時通訳あり)

主催：ユネスコ (UNESCO)、独立行政法人建築研究所 (BRI)、政策研究大学院大学 (GRIPS)

(2) 当日プログラム

内 容	時 間
(1) 開会	10:00-
1) 主催者挨拶 ①坂本 雄三 (独) 建築研究所理事長 ②恒川 恵市 政策研究大学院大学副学長	10:00-10:10
2) 来賓挨拶 井上 俊之 国土交通省大臣官房審議官	10:10-10:20
(2) 基調講演	10:20-
1) 基調講演 I 「地震学の未来」 尾池 和夫 (財) 国際高等研究所所長・前京都大学総長	10:20-11:10
2) 基調講演 II 「地震津波防災における役割と戦略」 バダウィ・ルーバン ユネスコ科学部門自然災害ユニット部長	11:10-12:00
昼 食	12:00-13:15
(3) 講演「命を守る—震災の教訓と今後の展望」	13:15-
1) 「2015 年以後の視点—災害軽減の実績と今後の課題」 サルバノ・ブリセーニョ IRDR 科学委員会委員長・前国連国際防災戦略事務局長	13:15-13:45
2) 「都市の新たな脅威としての長周期地震動」 瀧 一起 東京大学地震研究所教授	13:40-14:15
3) 「津波避難ビルの構造設計法」 福山 洋 (独) 建築研究所構造研究グループ長	14:15-14:45
4) 「地震工学分野の調査研究協力—ヨーロッパの SAFECAST プロジェクト」 ファルク・カラドアン トルコ・イスタンブール工科大学教授・前学長	14:45-15:15
5) Q & A 討論	15:15-15:20
休 憩	15:20-15:40
(4) パネルディスカッション：「命を守る地震防災国際協力」	15:40-
1) ユネスコ：バダウィ・ルーバン ユネスコ科学部門自然災害ユニット部長	15:40-15:45
2) チリ：ラウル・アルバレス チリ・カトリカ大学教授	15:45-15:55
3) エジプト：サラ・ムハンマド エジプト国立天文地球物理研究所部長	15:55-16:05
4) ペルー：カルロス・サバラ 日本・ペルー地震防災センター所長	16:05-16:15
5) ルーマニア：ラドゥ・バカロヌ ルーマニア・国立ブカレスト工科大学副学長	16:15-16:25
6) 日本：岡崎 健二 政策研究大学院大学教授	16:25-16:35
7) Q & A 討論	16:35-16:55
(5) 閉会	16:55-
1) 閉会挨拶 西山 功 (独) 建築研究所理事	16:55-17:00